

東北風景街道協議会委員による現地視察結果

日時：平成27年1月19日（月）

場所：秋田県能代市常盤～能代市寿域長根

東北風景街道協議会では、団体の質的向上を図ることを目的として協議会委員による現地視察を希望する1～2団体を対象に毎年実施しています。今年度は通算3回目となる「のしろ白神ネットワーク」で実施しました。平成21、24年度に現地視察時にいただいたアドバイスについて、パートナーシップが実施している取り組みの評価と今後のアドバイスをもらうため、東北風景街道協議会委員（石垣委員、鈴木委員、志賀委員、堀委員）にご同行頂き、視察及び意見交換を行いました。

1. 現地視察

視察においては、ウッドチップ舗装及び木質平板ブロック舗装の試験実施によりモデル地区に指定されている木の香る道、その実施団体である秋田県立大学 木材高度加工研究所を視察しました。また、NPO法人「常盤ときめき隊」加工場、平山秤店、夢工房 咲く❀咲く、といったのしろ白神ネットワークの構成団体を訪問しました。



『「常盤ときめき隊」加工場』



『平山秤店』



『夢工房 咲く❀咲く』



『木の香る道づくりモデル地区』



『秋田県立大学 木材高度加工研究所』

2. 意見交換会

委員からは、街づくりに関して、「高齢化・人口減の中で大事になるのがコミュニティづくりであり、自分の街をこんな風にしたいとする共通言語を持って揺るぎない取り組みを行うことが必要不可欠。」「高速道路の活用が交流や人口増加の鍵となり、道の使い方を考えることが重要である」。などの意見が上げられました。

また、消費者に好まれる店舗づくりに関しては、「店舗内だけではなく、店舗の外からの見たときの印象を考える必要がある。ガラス戸が殺風景だと店に立寄りにくい、商品密度を高めると立寄りやすくなる。」などの意見を頂きました。

最後に、八郎湖 PA を活用し、地域 PR や交流人口の増加、木の香る道づくりの推進 PRなどを目的とした無人高速道路施設（PA）の利用試行に対し、「いいものが知られていないときこそ、PR に効果がある。いろんな手段で観光 PR していくことが重要である。」と助言がありました。